

小学六年

適性検査A

解答と解説

【例】						
き	時	い	い	得	あ	
だ	間	と	る	し	う	文
と	と	し	。	あ	こ	章
述	空	て	ま	う	と	A
べ	間	も	た	努	は	で
て	を	、	、	力	難	は
い	共	お	文	を	し	、
る	有	た	章	し	い	み
。	で	が	B	な	が	ん
	き	い	で	け	、	な
	る	傷	は	れ	た	が
	作	つ	、	ば	が	理
	法	け	相	な	い	解
	を	あ	手	ら	に	し
	身	わ	が	な	歩	あ
	に	な	気	い	み	い
	つ	い	に	と	寄	、
	け	よ	入	述	り	納
	る	う	ら	べ	、	得
	べ	に	な	て	納	し

100 20

〔問二〕【例】				
と	み	に	自	代
。	で	集	然	々
	の	ま	村	家
	濃	っ	を	族
	密	て	基	ぐ
85	な	く	盤	る
	関	る	に	み
	係	の	建	で
	が	で	て	顔
	は	、	ら	見
	じ	学	れ	知
	め	校	た	り
	か	を	ム	の
	ら	支	ラ	子
	で	え	の	ど
	き	る	同	も
	て	地	じ	た
	い	域	小	ち
	た	ぐ	学	が
	こ	る	校	、

80 60 40 20

〔問一〕【例】		
II		I
仲	子	誰
良	ど	と
く	も	で
な	た	も
れ	ち	ど
る	が	ん
26	誰	な
	で	こ
	も	と
	友	で
	だ	も
	ち	分
	に	か
	な	り
	れ	あ
	て	え
	、	る
	誰	17
	で	
	も	

〔問三〕

る	お	せ	意	示	る	る	入	質		に	見	が	を	
こ	た	て	見	し	よ	場	れ	問	そ	し	と	大	よ	よ
と	が	相	を	て	う	合	た	を	の	た	出	切	く	り
が	い	手	押	、	に	も	り	し	た	り	あ	だ	聞	よ
で	納	の	し	説	、	、	し	た	め	す	っ	と	き	い
き	得	こ	つ	得	意	相	た	り	に	る	た	思	、	人
る	で	と	け	力	見	手	い	、	は	絶	り	う	相	間
よ	き	を	る	を	の	に	。	自	、	好	、	。	手	関
う	る	常	の	持	背	で	一	分	相	の	自	自	の	係
に	よ	に	で	た	景	き	方	の	手	機	分	分	立	を
努	う	意	は	せ	や	る	で	意	が	会	の	で	場	つ
め	な	識	な	た	、	だ	、	見	話	を	考	は	に	く
た	新	し	く	い	具	け	自	と	し	得	え	気	立	る
い	し	た	、	と	体	わ	分	ち	た	ら	を	づ	っ	に
。	い	い	想	思	的	か	が	が	内	れ	よ	け	て	は
	考	。	像	う	な	っ	意	う	容	る	り	な	考	、
	え	そ	力	。	例	て	見	点	に	か	良	か	え	相
	に	し	を	自	な	も	を	を	つ	ら	い	っ	る	手
	い	て	働	分	ど	ら	述	受	い	だ	も	た	こ	の
	た	、	か	の	を	え	べ	け	て	。	の	意	と	話

440

400

(配点)

300

200

{ [問題1] 20点
[問題2] 30点
[問題3] 50点 } 計100点

【解説】

問一

B1 情報を獲得する 比較 置き換え 具体・抽象

I **文章A**では、幻想げんそうについて「誰たれとでもどんなことでも分わかりあえる」というのは幻想げんそうにすぎない」と書かれています。この『 』の部分ぶぶんをそのまま抜き出ひします。

II **文章B**では、幻想げんそうについて「…まさにここで私は『幻想』という言葉ことばを使つかってみたいのですが、『友ともだち幻想』というものが強調きょうきょうされる場所ばしょのような気がきします」と書かれています。つまり、「みんな仲なつ良く」という考えかえ方が幻想げんそうだといわけてですが、このことが二十六字じちようどで書かかれているのは、第三段落だんごの「子どもたちが誰たれでも友ともだちになれて、誰たれでも仲なつ良よくなれる」という部分ぶぶんです。

問二

B2 情報を獲得する 理由 比較 置き換え 具体・抽象

—部の「現実げんじつ的な根拠こんきょ」については後の部分ぶぶんに、代々顔見知りよこよこがほの子どもたちが集落しゅうらくの小学校しょうがっこうに通とほうようになると、これまでの地域ちいきぐるみの濃密のうみつな関係かんけいが学校がっこうを支さえる役割やくわいを果はたすようになり、これが「クラスはみんな仲なつ良く」という考えかえのおおもとにある、ということが書かれています。

また、さらに後の部分ぶぶんでは「でも、今いまに比べれば、ムラの共同きょうどうの生活かどを核かくにした地域ちいきの支さえがとて強かかった」「地域の支さえという現実げんじつの根拠こんきょがあるからこそ、学校がっこうにおける共同きょうどう性は実現じっせんしていた」ということも書かれています。これらのいづれかの部分ぶぶんを利用りようしてまとめるとよいでしょう。

※以下のポイントを中心ちゆうしんに見みます。

① 「現実げんじつ的な根拠こんきょ」の内容ないようが説明せつめいされているか

- ② ①の内容ないようが過不足かふそくなく書かかれているか
- ③ 表記ひょうじや表現ひょうげんが正しいか

問三

C2 情報を獲得する 理由 比較 具体・抽象 推論

文章Aと**文章B**に書かれたことをふまえながら、よりよい人間にんげん関係かんけいをつくるために大切たいせつにしたこと、どう行動こうどうしたいかというこことについてあなたあなたの意見いけんを述のべる問題もんだいです。

第一段落だんごでは、**文章A**と**文章B**に書かれた、よりよい人間にんげん関係かんけいをつくるために必要ひつやうとされることについてまとめます。

文章Aの本文ほんぶんの第四段落だんごに「理解りかいしあうことも難がたしいが、納得なつとくしあうことはもつと難がたしい」「考えかえの多様性たさんせいを尊重そんじゆうしながら、なお歩あみ寄よる努力なうりが求められる」と書かれています。

文章Bの本文ほんぶんの最後の段落だんごに、気きの合あわない人ひとたちとも並存へいぞんするためには「『気きに入いらない相手あいてとも、お互たがい傷やつあわないう形かたちで、ともに時間じかんと空間くうかんをとりあえず共有きゆうぎできる作法さくぱ』を身につける以外いげんにないのです」と書かれています。これらの部分ぶぶんをそれぞれまとめるとよいでしょう。

第二段落だんごでは、よりよい人間にんげん関係かんけいをつくるためにあなたが大切たいせつにしたことを、第一段落だんごをふまえて書かきます。たとえば、他人たにんと理解りかいしあうことことでよい人間にんげん関係かんけいをつくらうとすれば、相手あいての立場たてばたや意見いけんを理解りかいしようようと努つとめることが有効くわうこうかもしれません。自分おのれなりに大切たいせつだと考えることことを書かいてみましよう。

第三段落だんごでは、第二段落だんごをふまえて、よりよい人間にんげん関係かんけいをつくるためにあなたがどのようように行動こうどうしたいのかを具体的くわんてきに書かきます。たとえば、自分おのれとはちがう意見いけんによく耳みみをかたむける、自分の意見いけんを理解りかいしてもらもらうためにできるだけ具体的くわんてきな例れいを交まえて話わす、などということこともよいかもしれません。あなたあなたの考かんがえ

え方にそって意見を書きましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

① **文章A**と**文章B**それぞれに書かれた、よりよい人間関係

をつくるために必要とされることについて筆者の考えが書

かれているか

② ①の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがな

いか

第二段落について

③ 第一段落をふまえて、よりよい人間関係をつくるために自

分が大切にしたいことが書かれているか

④ ③の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがな

いか

第三段落について

⑤ 第二段落をふまえて、よりよい人間関係をつくるために自

分が行動したいことが具体的に書かれているか

⑥ ⑤の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがな

いか

全体について

⑦⑧⑨⑩が一点以上合っている上で以下の⑦～⑩を見ます。ただし、

字数指定を守らない場合、採点対象となりません。

⑦ 段落が問題の指示に従って分けられているか

⑧ 答案用紙の使い方が正しいか

⑨ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか

⑩ 字数制限が守られているか